

第6回地域精神保健・福祉研究会

援助関係の価値転換を求めて

育ち合い，創り合う活動のために

第6回地域精神保健・福祉研究会は，前5回の研究会で検討されてきた「生活支援」のありようを，もう一度当事者の視点で見直し，既存の価値を問うたものである．企画・運営チームの構成は当事者と多職種専門家から成る．価値の転換とは，実はとても地味な作業であり，多くは大差のないように見える事柄から少しずつエッセンスを抽出して生み出されるものである．例えば，同じことを立場の違う人間が語ることにどれだけの意味があるのか．一見同じことを語っているようでいて，突き詰めると本質的な違いがそこに浮かび上がってくる．この価値転換の持つ意味に気づき，新たなる共通基盤を築き上げる第一歩としてこの研究会は企画され，当日を迎えた．